

# 第8編 文化財の保護

## 第1章 文化財保護

### 第1節 文化財の指定と保存修復事業

文化財の保護を図るため、文化財保護法及び群馬県文化財保護条例に基づき、重要なものを文化財指定するとともに、保存修復事業等に対して事業費の補助を行った。

#### 1 指定文化財

次のとおり、国指定重要文化財1件・国指定史跡2件・県指定史跡1件が新規に指定、国指定史跡2件が追加で指定された。これにより、国指定文化財合計146件（うち国宝1件）、県指定文化財合計429件となった。なお、3月には重要文化財「群馬県綿貫観音山古墳出土品」が国の文化審議会から国宝指定の答申を受けた。

##### (1) 国指定

種別	名称	所在の場所	所有者	指定日
重要文化財	塩原家住宅（3棟）	前橋市田口町	個人	12月27日
史跡	岩櫃城跡	吾妻郡東吾妻町大字原町字立石1449ほか	東吾妻町ほか	10月16日
史跡	上野国多胡郡正倉跡	高崎市吉井町池字新井365ほか	高崎市ほか	3月10日
史跡	八幡山古墳 （追加指定）	前橋市朝倉町4-9-10ほか	前橋市	3月10日
史跡	北谷追跡 （追加指定）	高崎市引間町644番7ほか	高崎市ほか	3月10日

##### (2) 県指定

種別	名称	所在の場所	所有者	指定日
史跡	奈良古墳群	沼田市奈良町字八幡平100-1 ほか	沼田市	2月21日

#### 2 登録有形文化財

令和元年度は登録有形文化財の登録はなかった。登録有形文化財（建造物）は129箇所336件、登録有形民俗文化財は2件である。

#### 3 選定文化財

令和元年度は選定文化財の選定はなかった。国選定重要伝統的建造物群保存地区は2件、国選定重要文化的景観は1件、県選定保存技術は1件である。

#### 4 選択文化財

令和元年度は選択文化財の選択はなかった。国記録選択は11件、県記録選択は1件である。

#### 5 文化財保存事業費等補助

文化財の保存と活用を図るため、次の保存事業等に対して事業費の補助を行った。

## (1) 県指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要文化財	不動寺の仁王門	保存修理	安中市	(宗)不動寺
	雷電神社社殿（本殿・幣殿・拝殿・奥宮）	保存修理	板倉町	(宗)雷電神社
	神保家住宅	建物調査・耐震診断	中之条町	中之条町
	旧アメリカンボード宣教師館	保存修理	前橋市	(学)共愛学園
史跡	中筋遺跡	保存修理	渋川市	渋川市
	五料の茶屋本陣	保存修理	安中市	安中市
	勘場木石器時代住居跡	保存修理	長野原町	長野原町
	彦部氏屋敷	保存修理	桐生市	個人
天然記念物	連取のマツ	保護養生	伊勢崎市	伊勢崎市
	ヒメギフチョウ	下草刈り・間伐	渋川市	渋川市
	金蔵寺のシダレザクラ	薬剤散布	渋川市	(宗)金蔵寺
	秋畑の大ツバキ	保護養生	甘楽町	甘楽町
	萩原の大笠マツ	保護養生	高崎市	個人
	高島小学校のトウグミ	保護養生	邑楽町	邑楽町
	吉祥寺のヒメコマツ	保護養生	川場村	(宗)吉祥寺
	妙義アメリカショウナンボク	保護養生	富岡市	個人
民俗	白瀧神社太々神楽保存会	関東ブロック民俗芸能大会出演	桐生市	保存会

## (2) 国指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要文化財	榛名神社本社・幣殿・拝殿ほか3棟	解体修理	高崎市	榛名神社
	旧富岡製糸場 西置繭所	保存修理	富岡市	富岡市
	旧新町紡績所	防災整備	高崎市	(株)クラシエフーズ
	阿久沢家住宅	耐震基礎診断	前橋市	前橋市
重要伝統的建造物群保存地区	桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区	修理修景	桐生市	桐生市
	中之条町六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区	修理修景・買上げ	中之条町	中之条町
登録文化財	旧狩宿茶屋本陣	保存活用計画	長野原町	長野原町
史跡	日高遺跡	環境整備	高崎市	高崎市
	箕輪城跡	復元整備	高崎市	高崎市
	北谷遺跡	買上げ	高崎市	高崎市
	女堀	測量・計画策定	伊勢崎市	伊勢崎市
	上野国佐位郡正倉跡	買上げ	伊勢崎市	伊勢崎市
	田島弥平旧宅	保存修理	伊勢崎市	伊勢崎市
	瀧沢石器時代遺跡	測量設計	渋川市	渋川市
	岩宿遺跡	買上げ	みどり市	みどり市
	高山社跡	保存修理	藤岡市	藤岡市
	中山道碓氷峠道	整備基本計画策定	安中市	安中市
	旧富岡製糸場 乾燥場・繭扱場・社宅76ほか	保存修理	富岡市	富岡市
	荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡	発掘調査・整備基本計画	中之条町	中之条町

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
天然記念物	浅間山溶岩樹型	測量・分布調査	嬭恋村	嬭恋村
記録選択無形民俗	六合入山のネドフミとスゲ細工の技術	記録作成・刊行	中之条町	中之条町
	六合入山のネドフミとスゲ細工の技術	映像記録作成	中之条町	中之条町

## 第2節 文化財管理活用事業

文化財の保存活用を図るため、基礎調査や管理の徹底を進めるとともに、文化財の普及や活用事業を実施した。

### 1 文化財調査

#### (1) 特別天然記念物カモシカ通常調査及び食害対策調査

カモシカの生息環境・生息密度・分布範囲・食害状況等の調査について、越後・日光・三国山系カモシカ保護地域(六合村・中之条町・みなかみ町・沼田市・片品村、調査員11名)通常調査、及び関東山地カモシカ保護地域(上野村、調査員2名)通常調査を実施した。県事業で行っている嬭恋村カモシカ等食害対策調査では、調査及び調査結果の普及啓発事業を実施した。

### 2 文化財パトロール

#### (1) 文化財パトロール

文化財保護法第191条の規定に基づき、文化財保護指導委員31人を委嘱、県文化財の管理状況についてパトロールを実施した。

#### (2) 高山蝶パトロール

ア 渋川市(ヒメギフチョウ)／保護パトロール員 20人、4月17日～6月19日実施

イ 嬭恋村(ミヤマシロチョウ・ミヤマシキチョウ・ベニヒカゲ)／保護パトロール員 25人、6月6日～10月15日実施

### 3 文化財普及

#### (1) 最新情報展

県内の発掘調査の成果の公表と埋蔵文化財保護思想の普及のため、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して、県埋蔵文化財調査センター発掘情報館において、最新の整理成果から出土遺物・解説パネル等の展示を行った。

### 4 文化財保護行政指導者養成

#### (1) 埋蔵文化財専門講座

埋蔵文化財に対する知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財行政と調査体制の充実及び学校教育と生涯学習の質的向上を目的とし、市町村の職員並びに公立・私立学校の教員を対象に(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に業務委託して講座を開設した。

ア 期日

8月6日～8月8日、9月3日～9月5日、9月10日～9月12日

イ 場所

県埋蔵文化財調査センター

ウ 受講者

38名

### 5 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法第14条の規定に基づき、美術品等として価値のある古式銃砲や刀剣類登録について、審査会を6回開催した。令和元年度の登録は、古式銃砲6件、刀剣類127件、合計133件。令和元年度末現在の登録総数は、古式銃砲1,251件、刀剣類54,038件、合計55,289件。

## 6 史跡観音山古墳保護管理

史跡観音山古墳の保存と見学者の利便を図るため史跡レンジャーを配置し、『見学用リーフレット』の配布・解説を行った。また、年度末には史跡上野国分寺跡とともに学習活動での利用を促すためのチラシを作成し、県内すべての小中学校、特別支援学校等に配布した。

令和元年度の古墳の見学者数は11,903人、うち石室見学者数は4,747人であった（前年度見学者数11,994人、石室見学者数5,622人）。

## 7 史跡上野国分寺跡保護管理

史跡上野国分寺跡の保存を図り、歴史的環境を整え活用を図るため、昭和55年度から史跡整備事業が実施され、平成24年度からは第2次整備事業が開始された。さらに、平成24年度からガイダンス施設の解説員を1名増員し、年末年始期間（12月29日～1月3日）以外を無休とした。

なお、県内国公立小中学校、中等学校、特別支援学校全校に利用促進パンフレットを配布し、校外授業、総合学習への利用を促し、施設内の展示物及び史跡を分かりやすく説明した。

令和元年度のガイダンス施設の入館者数は21,582人であった（前年度22,948人）。

# 第3節 埋蔵文化財保護管理事業

## 1 幹線交通埋蔵文化財調査

### (1) 一般国道50号〔前橋笠懸道路〕等（国土交通省から受託）

一般国道50号等の建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

#### ア 発掘調査事業

柳田遺跡・多田山東遺跡他、計3遺跡の発掘調査を実施した。調査面積 26,586㎡

### (2) ハツ場ダム（国土交通省から受託）

ハツ場ダムの建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

#### ア 発掘調査事業

石川原遺跡他、計8遺跡の発掘調査を実施した。調査面積 計34,031㎡

#### イ 整理事業

東宮遺跡他、計14遺跡の整理事業を実施し、5冊の調査報告書を刊行した。

## 2 公共開発関連埋蔵文化財緊急調査

公共開発に伴う事前調査で、事業関連の発掘調査と事業に係る出土遺物の整理を実施し、開発事業との調整を図った。

### (1) （公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団実施調査

#### ア 発掘調査事業

西毛広域幹線道 高崎西工区・本郷満行原遺跡他、計29遺跡の発掘調査を実施した。

調査面積 105,247㎡

#### イ 整理事業

金井東裏遺跡他、計15遺跡の整理事業を実施し、7冊の調査報告書を刊行した。

### (2) 群馬県教育委員会文化財保護課実施調査（試掘・確認調査）

県公共事業、国土交通省事業（前橋笠懸道路、綾戸バイパス関係）において50件の試掘調査を実施した。

### 3 埋蔵文化財発掘調査等に対する補助金交付

市町村が実施した国庫補助事業による8件の市町内遺跡等発掘調査等事業に対し、13,843千円の県費による補助金を交付した。

### 4 埋蔵文化財緊急発掘調査の動向

開発に伴う届出等のうち、法第94条による調査件数は減少、第92条は横ばい、第93条は増加しているが、その伸び率は昨年度までに比べて鈍っている。民間開発に伴う法第93条では個人住宅や集合住宅建設、太陽光発電施設や携帯基地局の設置に伴う届出の件数が増加している。

(1) 令和元年度原因者別発掘(通知・届)

通知・届	発掘調査		土木工事		計
	92条	99条	93条	94条	
道路	30	89	3	75	197
鉄道	0	0	0	0	0
空港	0	0	0	0	0
河川	1	12	0	5	18
ダム建設	10	0	0	0	10
学校建設	2	10	2	1	15
集合住宅	0	30	95	0	125
個人住宅	0	67	1603	0	1670
住宅兼用	0	1	7	0	8
店舗	1	18	53	0	72
土地区画整理	10	21	4	7	42
その他建物	5	71	289	20	385

  

宅地造成	6	73	212	0	291
ガス等	4	57	1199	30	1290
工場	2	10	15	0	27
農業基盤	0	8	0	5	13
農業関係	0	5	0	5	10
ゴルフ場	0	0	0	0	0
土砂採取	0	2	2	1	5
その他開発	1	53	149	18	221
観光開発	0	0	0	0	0
自然消滅	0	0	0	0	0
遺跡整備	0	1	0	0	1
公園造成	1	1	0	7	9
学術調査	4	1	0	0	5
保存目的	0	6	0	0	6
遺跡地図	0	0	0	0	0

### 5 県統合型GIS(「マッピングぐんま」)

県統合型GIS(「マッピングぐんま」)において、県民に最新の埋蔵文化財及び指定文化財に関する情報を提供することにより、文化財の活用を推進した。また、開発事業者等に最新の埋蔵文化財に関する情報を提供することにより、文化財保護法に基づく諸届出が適正に提出され、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整が図られた。

令和元年度データ更新件数

遺跡位置情報及び属性情報 263件

指定文化財位置情報及び属性情報 4件

### 6 古墳情報発信事業

県内の古墳に関する情報を広く発信するため、古墳総合調査の成果を活用して古墳情報データベースとスマートフォン用アプリを公開している。アプリはルート案内や周遊チャレンジ等、古墳現地の見学に役立つ機能を盛り込んでおり、約6千件のダウンロードがあった。また、一般向け冊子『ぐんま古墳探訪』について、有償販売を行った。

群馬県の古墳の価値を実感できるようにすることを目的に、小学校の教員が古墳を活用した学習において使用できるプログラム(指導マニュアル)を作成するため、現役の小学校教諭と埋文事業団に在籍する教員籍の職員からなる古墳学習プログラム作成委員会を4回開催した。また、京ヶ島小学校で公開授業研究会を、各委員も各小学校で公開授業を実施し、その成果をもとに古墳学習プログラムを刊行した。冊子は、県内全小学校、全市町村教育委員会に配布し、データは群馬県総合教育センターに依頼し、運営するサイト(G-Tak.net)で公開を行った。